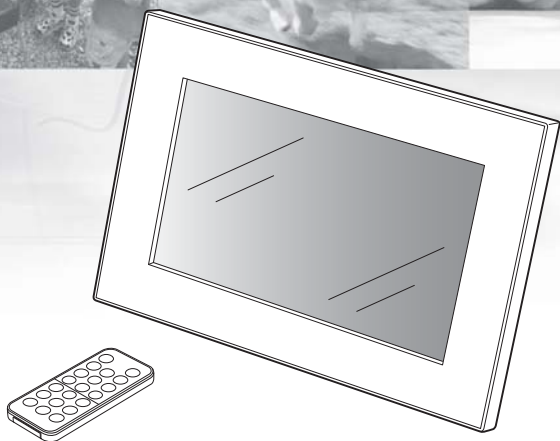


取扱説明書

Digital PhotoFrame

DFD-700



このたびは、トライウイン・デジタルフォトフレームをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上の注意』（P.4～P.7）は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

この商品は、海外ではご使用になれません。For use in Japan only.

■ 商標と著作権

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- ② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更されることがあります。
- ③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一で不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

SD ロゴは商標です。 

本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

商標と著作権	2	写真再生の応用操作	28
目次	3	写真の一覧表示(サムネイル)	28
安全上のご注意	4	スライドショーの設定	29
絵表示について	4	写真の表示サイズを変更する	30
安全上のご注意		BGM の選曲	31
(本体および AC アダプター)	4		
安全上のご注意(電池について)	7	応用操作	32
その他のご注意	8	動画の再生	32
液晶画面について	8	メディア選択	34
再生するデータについて	8	時計・カレンダー	35
本体の特徴と仕様	9	本体を使って時計・カレンダーを	
パッケージ内容の確認	10	変更する	36
本体の各部名称と動作	11	時計・カレンダーを設定する	37
リモコンについて	13	アラーム	39
リモコンの各部名称と動作	13	メモリー内の写真を	
リモコン操作	14	コピーするには	41
リモコンの電池入れ換え	15	内蔵メモリー内の写真を	
準備	16	削除するには	42
設置について	16	設定を変更する	43
USB メモリー / メモリーカードに		設定メニュー一覧	44
ついて	17	パソコンと接続する	45
再生できるデータについて	19	その他	46
基本の操作	20	故障かなと思ったら	46
電源を入れるには	20	仕様	47
メニューバーについて	21	サポートセンターへの	
メインメニューについて	22	お問い合わせ方法	52
メインメニューの表示と選択	23		
写真の再生	24		
スライドショーの開始	24		
リモコンでの操作	24		
本体での操作	24		
写真の自動回転	25		
スライドショー中の写真の選択			
(プレビュー)	26		
写真の回転	27		
写真の拡大・縮小	27		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

■ 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

■ 安全上のご注意(本体および AC アダプター)

警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。



電源プラグ
をコンセント
から抜く



接触禁止

雷が鳴りだしたら、本体、外部との接続コードおよび AC アダプターの電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



船舶などの直流(DC)電源に AC アダプターは接続しないでください。火災の原因となります。

安全上のご注意(続き)

 警告	
  電源プラグ をコンセント から抜く	万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り必ず AC アダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 この AC アダプターは日本向けのものです。電源電圧は交流 100 ボルトでご使用ください。交流 100 ボルト以外でのご使用は避けてください。
	 AC アダプターに何かの異常を感じましたらサポートセンターに交換をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	 水場での 使用禁止 風呂場・シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 水濡れ禁止	この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
	 AC アダプターの上に重いものをのせたりしないでください。AC アダプターが破損し、火災・感電の原因となります。
 電源プラグ をコンセント から抜く	万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、必ずアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 付属の AC アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となることがあります。
 分解禁止	この機器および付属の AC アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	 付属の AC アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	AC アダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。
	 この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。

安全上のご注意(続き)

⚠ 警告



電源プラグ
をコンセント
から抜く

万一、AC アダプターの電源コードが傷ついた場合は、機器本体の電源を切り、必ずアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



付属の AC アダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ
をコンセント
から抜く

お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



電源プラグ
をコンセント
から抜く

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。



移動させる場合は、必ず AC アダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

安全上のご注意(続き)

■ 安全上のご注意(電池について)

⚠ 警告

 付属リモコンの電池 CR2025 を使用してください。これ以外の電池は使用しないでください。火災・故障の原因となります。	 電池を取り外した場合は、乳幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
 使用済の電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。	

⚠ 注意

 電池の電極はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。	 電池の極性表示(プラスとマイナスの向き)を確認してからリモコン内に挿入してください。間違えますと電池の破裂、液洩れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
 不要になった電池を廃棄する場合は、各地方自治団体の条例や指示に従って処理してください。	 ぬれた手で、電池の出し入れをしないでください。火災・感電・けがの原因となることがあります。 濡れ手禁止
 電池は金属性のボールペン、ネックレス、コインなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス(+)端子とマイナス(-)端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。	 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出してください。取り出した電池は乳幼児の手の届かない日の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

その他のご注意

■ 液晶画面について

- 本体は、高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶パネルの特性によるもので本体の故障ではありません。
- 液晶画面や液晶画面外周を強く押さないでください。液晶パネルに強い圧力がかかると、液晶の劣化や液晶パネルの故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。
- 液晶画面を硬いものや先の尖ったもので押さないでください。液晶パネルが傷つくおそれがあります。
- 液晶画面を固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- 同じ写真を長時間表示し続けると、その表示を続けた写真の残像が残る「焼き付き」がおこることがあります。同じ写真を長時間表示し続けしないでください。

■ 再生するデータについて

CD、DVD、テレビ放送、ラジオ放送およびインターネット上の画像 / 動画 / 音楽等は、それが有償または無償で配給されているかに係わらず、個人的に家庭内で楽しむことに限り複製や編集が許されています。著作者または著作権の管理団体等の許可無く、この範囲を越えると、著作物の使用料や賠償を求められることがあります。また、個人的にお撮りになった写真や動画でも対象者の肖像権や対象物の著作権を侵害することがありますので、肖像権や著作権に触れるような使用は避けてください。特に、興行や実演またはテーマパーク等の遊戯施設では、撮影が禁止や限定されていることがあります。その様な場合にも、肖像権や著作権を侵害しないようにご注意ください。

重 要

● 記録内容について

記録内容につきましては、保証の対象外となります。

本体の不具合や操作方法の誤りにより、本体にデータが記憶できなかったり、本体内や使用したメモリー内のデータの一部または全部が、消去・破損・再生不能になっても保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

● バックアップについて

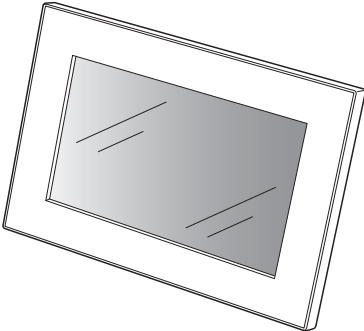
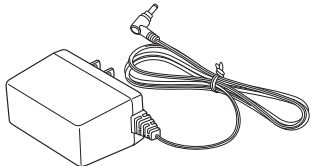
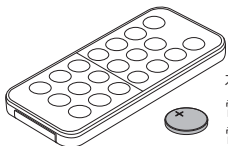
本体に記録しようとするデータおよび本体で使用するメモリー内のデータにつきましては、事前にバックアップをして予備のデータを作成することをお勧めします。データのバックアップ方法は、ご使用になるパソコンやデジタルカメラ、各メモリー等の取扱説明書をご覧ください。

本体の特徴と仕様

- ◆ 7インチ (800 × 480) TFT カラー液晶ディスプレイ
- ◆ BGM 付きスライドショー機能
- ◆ 写真を一覧表示するサムネイルで写真を検索
- ◆ 写真の回転、拡大機能
- ◆ 画面の輝度調節
- ◆ 写真の自動回転
本体を縦または横向きに置いて、写真は自動的に回転します。
- ◆ 1GB フラッシュメモリ内蔵
内蔵フラッシュメモリにお気に入りの写真をコピー、削除が可能
- ◆ パソコンの接続不要 (USB メモリー、SD カード、MS、MMC カードに対応)
デジタルカメラの各メモリーカードを直接挿入して表示、再生可能
- ◆ 写真：JPEG、音楽：MP3、動画：Motion JPEG (AVI) をサポート
- ◆ カレンダー、時計表示、アラーム機能
- ◆ AC アダプターを使用し、電池不要
- ◆ 英語、日本語対応
- ◆ パソコンに接続して、パソコンの写真をダウンロード可能
- ◆ ステレオスピーカ内蔵

パッケージ内容の確認

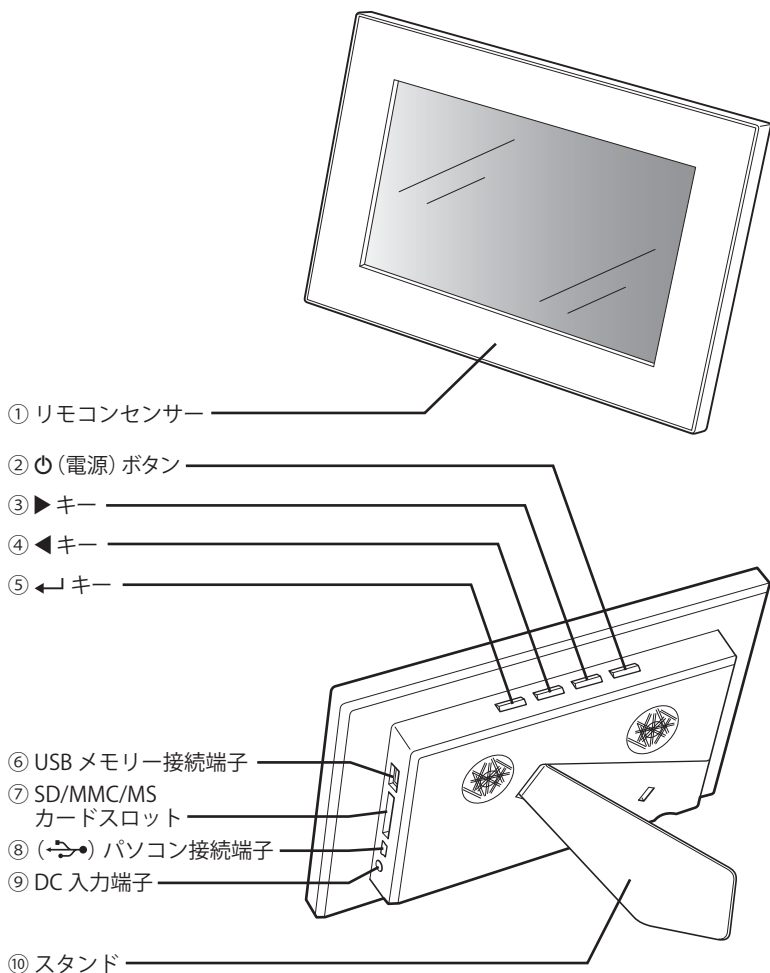
お買い求めになられて、ご使用前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

DFD-700 フォトフレーム(本体) 	AC アダプター 
保証書付き取扱説明書(本書)	リモコン  初期動作確認用 電池(リチウム 電池 CR2025) (電池は、リモコン内に入っています。)

注 意

- メモリーカード、USB メモリーは付属してありません。

本体の各部名称と動作



本体の各部名称と動作(続き)

- ① **リモコンセンサー**
リモコンは、ここへ向けて操作してください。
- ② **⏻(電源)ボタン**
このボタンを押して、電源のオン・オフを行ないます。
- ③ **▶**
このボタンを押すとメニューバーが表示され、その該当するボタンを押して項目を選択します。
- ④ **◀**
このボタンを押すとメニューバーが表示され、その該当するボタンを押して項目を選択します。
- ⑤ **↶**
このボタンを押すとメニューバーが表示され、その該当するボタンを押して項目を選択します。
- ⑥ **USB メモリー接続端子**
USB メモリーと接続します。
- ⑦ **SD/MMC/MS カードスロット**
メモリーカードを接続します。
次のメモリーカードに対応しています。
SD カード、マルチメディアカード(MMC)、MS
- ⑧ **(→●)パソコン接続端子**
USB ケーブルを接続し、パソコンと接続します。
- ⑨ **DC 入力端子**
付属 AC アダプターの DC プラグを接続します。
- ⑩ **スタンド**
お使いのときは、このスタンドを引き出して使用します。

リモコンについて

リモコンの各部名称と動作



① **一覧**
写真のサムネイル画面を表示します。

② **⏻ (電源)**
電源をオンまたはオフにします。

③ **時計**
カレンダーや時計を表示します。

④ **音楽**
BGM の歌曲リストを表示します。

⑤ **拡大 / 縮小**
プレビュー時の写真の拡大・縮小を行います。

⑥ **写真**
スライドショーを開始します。

⑦ **📄 (コピー・削除)**
本体へへの写真のコピー、本体内写真の削除を行います。

⑧ **メニュー**
メインメニューを表示します。

⑨ **消音**
BGM または動画再生時の音声を一時的に消します。

⑩ **⬆️ ⬇️ ⬅️ ➡️**
写真やメニューを選択します。

⑪ **決定**
決定または一時停止を行います。

⑫ **戻る**
一つ前の表示に戻ります。

⑬ **回転**
プレビュー時の写真の回転を行います。

⑭ **🔄 (表示比率：16:9 または 4:3)**
写真の表示を 16:9 または 4:3 に変更します。

⑮ **音量+ / 音量-**
BGM または動画の音量を増減します。

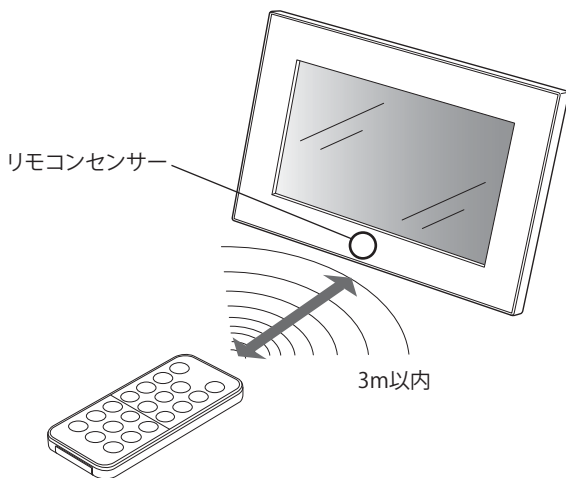
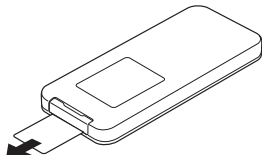
リモコンについて (続き)

■ リモコン操作

リモコンは、本体のリモコンセンサーに向けて操作してください。

ヒント

- リモコンをご使用の前に、電池の絶縁シートを外してください。



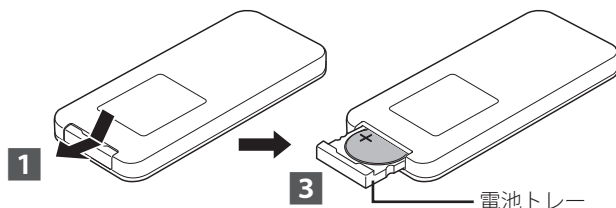
- リモコンはリモコンセンサー部に垂直方向にて約 3m 以内で使用できます。

重要

- 本体に直射日光や強い光りを当てないでください。特にリモコンセンサー部に直射日光や強い光りが当たるとリモコンが正しく働かないことがあります。
- リモコンとリモコンセンサーの間に遮蔽物を置かないでください。リモコンからの信号が受信できず、本体が正しく働かないことがあります。

リモコンについて (続き)

■ リモコンの電池入れ換え



1 電池トレイを引き抜く

2 使い終わった電池を取り出す

3 新しい電池の極性を確かめてから、電池を電池トレイに正しく乗せる

- 使える電池は、リチウム電池の CR2025 です。これ以外の電池は使用しないでください。

4 電池トレイをリモコン内に挿入する

重 要

- 使い終わった電池は、各地方自治体の指示に従って廃棄してください。
- 電池トレイが正しく挿入できないときは、電池が電池トレイの上に正しく乗っていないことがあります。電池トレイを無理に挿入しようとせず、一度電池トレイを取り出して、電池が電池トレイに正しく乗っているか確認してください。

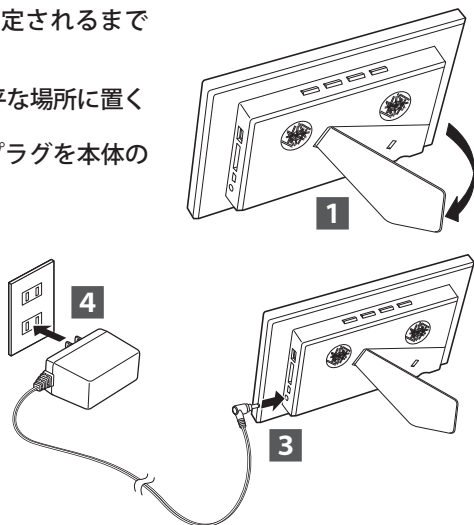
ヒント

- お買い上げ時リモコン内に入っている電池は、初期の動作確認用です。したがって電池はお早めにお取り換えください。

準備

■ 設置について

- 1** 本体背面よりスタンドが固定されるまでしっかり引き出す
- 2** 本体を凹凸や傾きのない水平な場所に置く
- 3** 付属 AC アダプターの DC プラグを本体の DC 入力端子に挿入する
- 4** 付属 AC アダプターの電源プラグを交流 100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む



⚠ 警告

- 付属 AC アダプター以外を電源として使用しないでください。付属 AC アダプター以外を使用すると、火災、感電や故障の原因になることがあります。

注意

- スタンドは、固定されるまでしっかり引き出してください。スタンドが固定されるまで引き出されていないと、本体が倒れたり、落下してけがや故障の原因になることがあります。
- 付属 AC アダプターは必ず交流 100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。交流 100V 以外の電源の使用は、保証の対象外となります。

準備(続き)

■ USB メモリー / メモリーカードについて

デジタルカメラで使用していた各メモリーカード、またはパソコンからデータを入れた USB メモリーを接続して、写真や動画の再生を行なえます。

重 要

● 記録内容について

記録内容につきましては、保証の対象外となります。

本体の不具合や操作方法の誤りにより、本体にデータが記憶できなかったり、本体内や使用したメモリー内のデータの一部または全部が、消去・破損・再生不能になっても保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

● バックアップについて

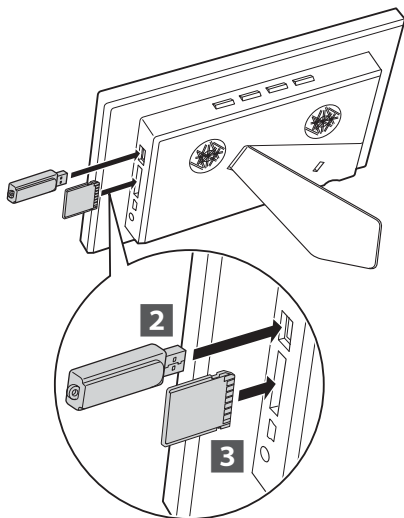
本体に記録しようとするデータおよび本体で使用するメモリー内のデータにつきましては、事前にバックアップをして予備のデータを作成することをお勧めします。データのバックアップ方法は、ご使用になるパソコンやデジタルカメラ、各メモリー等の取扱説明書をご覧ください。

1 本体の電源がオフであることを確認する

2 USB メモリーは、向きをよく確認して USB メモリー接続端子に接続する

3 メモリーカードは、向きをよく確認して SD/MMC/MS カードスロットに接続する

- MS 等の本体のメモリーカードスロットより幅の狭いメモリーカードをお使いの場合、メモリーカードがメモリーカードスロットの中央になるように挿入してください。



ヒント

- 写真を表示するメモリーは、メインメニューの「メディア選択」で変更できます。

準備(続き)

注意

- USB メモリーおよびメモリーカードを誤った向きで接続すると、本体の端子や各メモリーを破損する恐れがあります。
- 本体の電源が入っている状態のまま USB メモリーまたはメモリーカードを抜くとメモリー内のデータが破損する恐れがあります。メモリーを抜くときは、電源を切ってから行ってください。
- USB ハブ等を使って、複数の USB メモリーおよびメモリーカードを接続すると不具合の原因となることがあります。メモリーは必ず本体に直接挿入してください。
- 内蔵メモリーは 1GB ありますが、メモリーをソフトウェアも使用しているため、1GB 全て使用する事はできません。

重要

- miniSD カード、microSD カードやサイズの小さい MS を直接本体に挿入しないでください。取り出せなくなったり、本体やカードを傷つける恐れがあります。miniSD カード、microSD カードやサイズの小さい MS をお使いになるときは、必ずそのメモリーカードに合った変換アダプターをご使用ください。

- 優先順位の高いメモリー内のデータが再生されます。
本体が起動した後、一番最後に挿入されたメモリーの優先順位が高くなります。
例：電源が切れているときに、SD カードが挿入されて、内蔵メモリーを含め総て再生できる写真データが入っていても、電源が入った後に USB メモリーを挿入すると USB メモリーの優先順位が最も高くなります。
再度電源を入れ直したときは、USB メモリー内の写真が自動的にスライドショーで再生されます。
- パソコンやデジタルカメラから USB メモリーまたはメモリーカードへデータをコピーする方法については、お使いになるメモリーやデジタルカメラ、パソコンの取扱説明書をよくご覧ください。

準備(続き)

■ 再生できるデータについて

本体で再生できるデータ形式は、次のようになります。

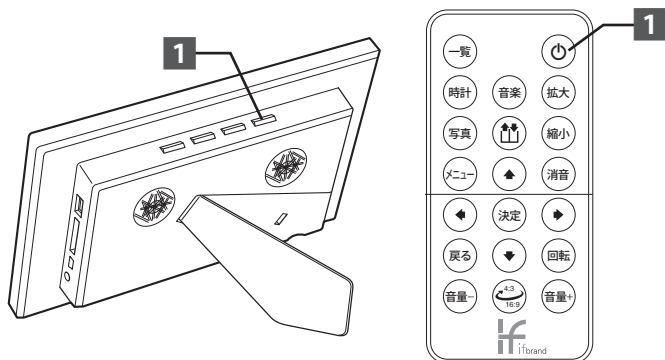
写真データ	JPEG
音楽データ	MP3
動画データ	Motion JPEG (AVI)

重 要

- データ形式が合っていても、データにより再生できないことがあります。また、データの容量や条件により再生に時間がかかる場合があります。
- ファイル名は英数字のみ表示されます。ひらがな、カタカナ、漢字等の2バイト文字は、「-」に置き換えられて表示されます。

基本の操作

電源を入れるには



1 本体の電源を入れるには、本体またはリモコンの [⏻] ボタンを押す

- 電源が入り、オープニング画面が表示されます。



2 本体の電源を切るには、再度本体またはリモコンの [⏻] ボタンを押す

ヒント

- 電源が入ると、優先順位の最も高いメモリーに再生可能な写真データが有る場合は、自動的にスライドショーが始まります。

※これ以降のページにつきましては、特に断りのない限り、電源が入っている状態として説明を行います。

基本の操作(続き)

■ メニューバーについて

本体またはリモコンのいずれかのボタンを押すとメニューバーが表示されます。メニューバーに表示されている内容と本体のボタンが対応しています。



基本の操作(続き)

■ メインメニューについて

① スライドショー

写真を再生するときに、このメニューを選びます。



② メディア選択

再生するメモリを変更するときに、このメニューを選びます。



③ 設定

本体の設定を変更するときに、このメニューを選びます。



④ インデックス表示

再生したい写真を一覧表示から探すときに、このメニューを選びます。



⑤ カレンダー

カレンダーまたは時計を表示するときに、このメニューを選びます。
日付や時刻は、設定メニューで変更します。



⑥ ビデオ

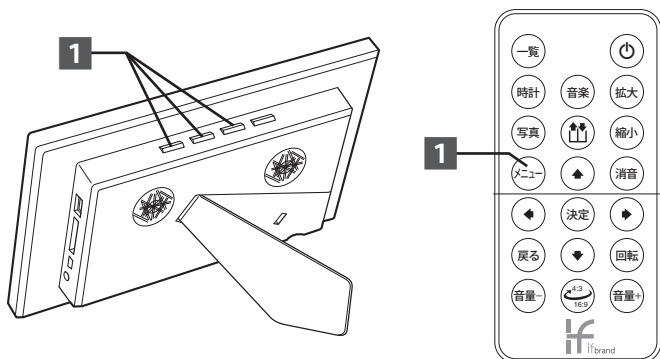
動画を再生するときに、このメニューを選びます。



基本の操作(続き)

■ メインメニューの表示と選択

- 1** 本体では、[◀]、[▶] または [↵] を押し、さらに [↵] (メインメニュー) を押す
リモコンでは、[メニュー] を押す



- メインメニューのスライドショーが表示されます。



- 2** 本体の [◀]、[▶] またはリモコンの [◀]、[▶] を押して、メニューを選択する
- 3** 本体の [↵] (決定) またはリモコンの [決定] を押して、選んだメニューを決定する
- リモコンの [戻る] を押すと、一つ前の表示に戻れます。

写真の再生

■ スライドショーの開始

本体で再生できる写真データが有る場合、写真を一定間隔で順次切り換えていくスライドショーとして写真が表示されます。このスライドショーが本体の最も基本的な機能となります。

ヒント

- スライドショーを停止して、再生したい写真を選んで表示するプレビューに切り換える(P.26)ことができます。また、小さな写真を一覧表示させることもできます(P.28)。
- スライドショーの写真が切り換わるパターンを変更することもできます(P.29)。

◆ リモコンでの操作

1 [写真] を押す

- スライドショーが始まります。
- BGM も開始されます。

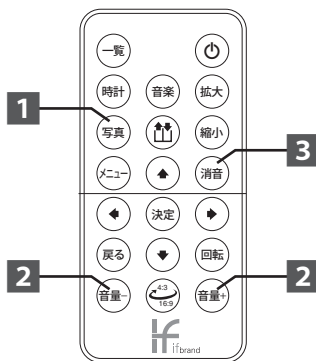
2 [音量+] または [音量-] を押して音量を調整する

ヒント

- 音量バーが表示されるのは、「横置き」時のみになります。「縦置き」時は表示されません。

3 音声を一時的に消すには、[消音] を押す

- もう一度[消音]を押すと音声がかかります。



◆ 本体での操作

1 本体では、[◀]、[▶] または [↶] を押す

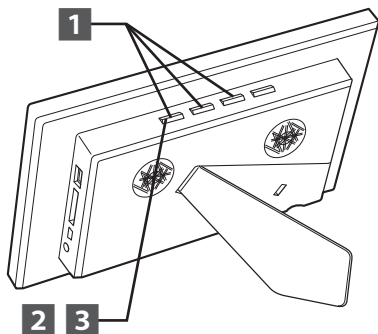
- メニューバーが表示されます。

2 [↶] (メインメニュー) を押す

- メインメニューのスライドショーが表示されます。

3 [↶] (決定) を押す

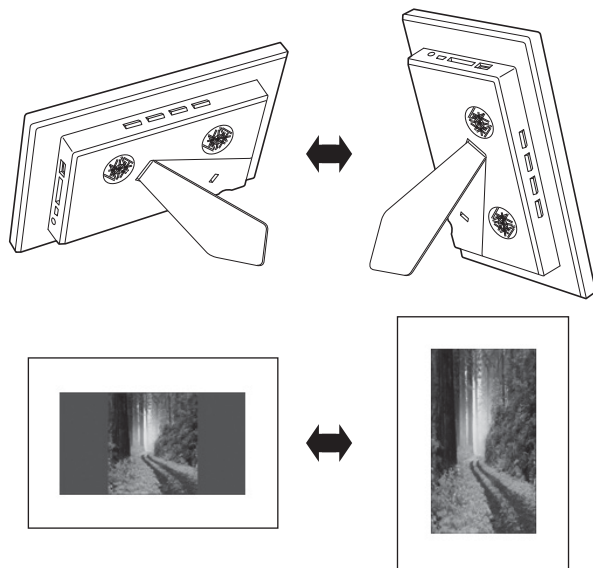
- スライドショーが始まります。



写真の再生 (続き)

■ 写真の自動回転

本体の置き方を変えると、それに合わせて写真も自動的に回転します。



- 1 本体を横置きから縦置きにする**
 - 写真の向きが自動的に変わります。
- 2 本体を縦置きから横置きに戻す**
 - 写真の向きが元に戻ります。

ヒント

- 本体を縦置きにした場合、設定メニューの「スライド設定」を「タイプ2」に設定しても、写真のスライドショーは「タイプ1」となります。
- 本体を縦置きにした場合、スライドショーを一時停止するプレビュー表示および音量バーの表示しません。
- 次のものは回転できません。
動画、カレンダー機能のデジタル時計表示、メインメニュー

写真の再生(続き)

■ スライドショー中の写真の選択(プレビュー)

1 本体またはリモコンを使ってスライドショーを始める(P.24)

- リモコンの「決定」を押してスライドショーを一時停止させます。

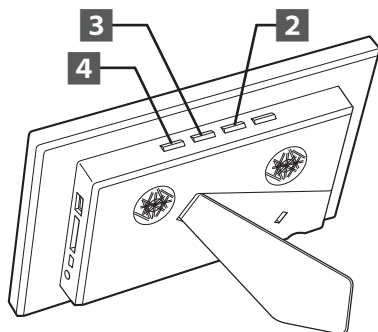
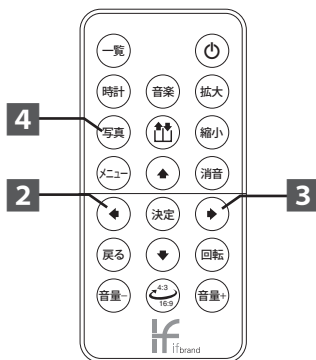
2 1つ前の写真を表示するには、本体の「◀」またはリモコンの「◀」を押す

- ボタンが押される度に、写真が切り換わっていきます。

3 1つ先の写真を表示するには、本体の「▶」またはリモコンの「▶」を押す

- ボタンが押される度に、写真が切り換わっていきます。

4 スライドショーを再開するには、リモコンの「戻る」または本体の「◀」(戻る)を押す



重要

- 写真の一時停止を長時間続けると、画面の焼き付きを起こす恐れがあります。長時間の一時停止は避けてください。

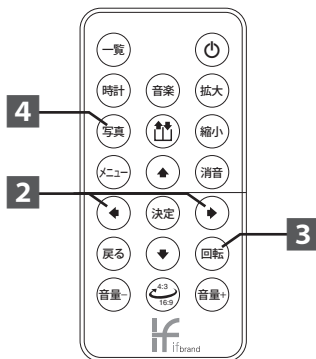
ヒント

- 写真の選び方には、小さな写真を一覧表示するインデックス表示でも行えます(P.28)。

写真の再生(続き)

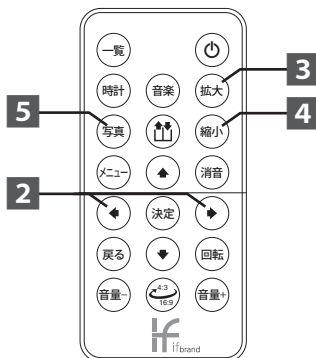
写真の回転

- 1 本体またはリモコンを使ってスライドショーを始める(P.24)
- 2 リモコンの[◀]または[▶]を押して、回転したい写真を選ぶ
 - スライドショーは、一時停止します。
- 3 写真を右に回転するには、リモコンの[回転]を押す
 - ボタンが押される度に、右に 90°回転します。
- 4 スライドショーに戻るには、リモコンの[戻る]を押す



写真の拡大・縮小

- 1 本体またはリモコンを使ってスライドショーを始める(P.24)
- 2 リモコンの[決定]を押して、スライドショーを一時停止する
- 3 写真を拡大するには、リモコンの[拡大]を押す
 - ボタンが押される度に、写真が大きくなっていきます。
- 4 写真を縮小するには、リモコンの[縮小]を押す
 - ボタンが押される度に、写真が小さくなっていきます。
- 5 スライドショーに戻るには、リモコンの[戻る]を2回押す



ヒント

- 本体を縦置きの場合、写真の回転、拡大・縮小はできません。
- スライドショーを再開すると、写真の表示は元に戻ります。
- 初期サイズからの拡大は2段階、縮小は3段階になります。

写真再生の応用操作

■ 写真の一覧表示(インデックス表示)

再生できる写真を小さな写真として、画面に一覧表示します。



インデックス表示

1 リモコンの[一覧]を押す

- 再生可能な写真が一覧表示されます。
- [一覧]を押す度に、表示される写真の数は変わっていきます。
- [一覧]のかわりにリモコンの[+]、[-]でも変える事が出来ます。
- 再生できない写真は、()で表示されます。

2 本体の[◀]、[▶] またはリモコンの[▲]、[▼]、[◀]、[▶] を使って、写真を選ぶ

3 選んだ写真を表示するには、リモコンの[決定] または本体の[←] (決定) を押す

- 表示した写真は、回転、拡大・縮小ができます。(P.27)

4 選んだ写真からスライドショーを始めるには、リモコンの[写真]を押す

- メインメニューに戻って、スライドショーを選択しても、選んだ写真からスライドショーが始まります。

ヒント

- メインメニューの「インデックス表示」を選んでも写真を一覧表示できます。

写真再生の応用操作(続き)

■ スライドショーの設定

スライドショーでの写真の切り換わる時のパターンを変更できます。



- 1** リモコンの[メニュー]を押す
 - メインメニューが表示されます。
- 2** リモコンの[◀]または[▶]を押し「設定」を選び、[決定]を押す
 - 設定のメニューが表示されます。
- 3** リモコンの[▲]または[▼]を押し「スライド設定」を選ぶ
- 4** リモコンの[◀]または[▶]を押し、設定したいタイプを選び、[を押す]
 - 「タイプ1」を選ぶと、写真は色々なワイプ(場面転換)で切り換わって表示されます。
 - 「タイプ2」を選ぶと、写真を順次切り換えていきます。ただし、写真により表示されていない箇所を表示してから切り換わることがあります。
- 5** リモコンの[戻る]を押す
 - メインメニューに戻ります。
 - 設定メニューの「戻る」を選択しても、メインメニューに戻ります。

写真再生の応用操作(続き)

■ 写真の表示サイズを変更する

スライドショーで表示される写真のサイズを 16:9 または 4:3 のどちらかで表示できます。

1 本体またはリモコンを使ってスライドショーを始める(P.24)

2 リモコンの  を押して、表示サイズを切り換える

- ボタンが押される度に、サイズは 16:9 と 4:3 で切り換わります。

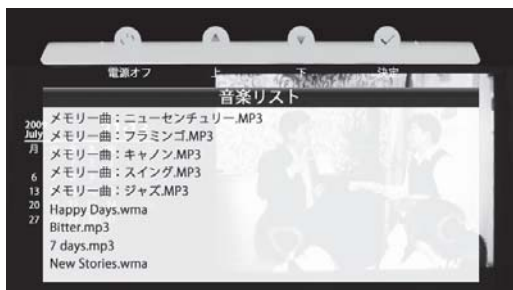
ヒント

- 選ぶ表示サイズと写真のサイズにより、写真の上下または左右が切れて表示されることがあります。
例：4:3 の写真を 16:9 表示すると、上下が切れて表示されます。
- スライドショーの一時停止中には、サイズの切り換えは行えません。
- 設定メニューの「画面表示設定」でも、表示サイズを切り換えることができます。ただし、スライド設定がタイプ 2 の時は切り換えできません。

写真再生の応用操作(続き)

BGM の選曲

スライドショーと同時に流れる BGM は、本体内にメモリー曲として 5 曲内蔵されています。また、再生中のメモリーに再生可能な音楽データがあれば BGM として再生することができます。これらの曲を選曲することが可能です。



1 リモコンの [音楽] を押す

- 音楽リストが表示されます。
- スライドショーは一時停止します。

2 リモコンの [▲] または [▼] を押し、再生する曲を選ぶ

- 曲を選ぶと、その曲の再生が始まります。

3 リモコンの [音量+] または [音量-] を押して音量を調整する

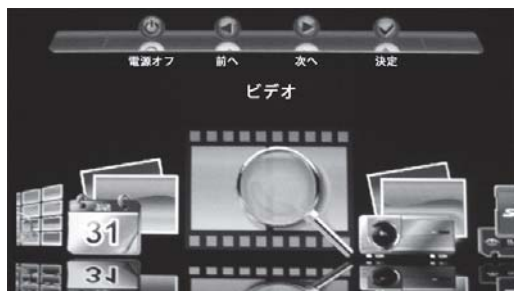
4 リモコンの [戻る] を押し、元の表示に戻る

ヒント

- 歌曲リストは英数字のみで表示されます。ひらがな、カタカナ、漢字等の 2 バイト文字は、「-」に置き換えられて表示されます。
- メモリー曲のみ日本語で表示されます。
- スライドショーで
リモコンの [▲] を押すと BGM が前の曲に切り替わります。
リモコンの [▼] を押すと BGM が次の曲に切り替わります。
- メモリー曲の変更はできません。

応用操作

動画の再生



- 1 メインメニューを表示します。(P.23)
- 2 リモコンの[◀]、[▶]または本体の[◀]、[▶]を押して、「ビデオ」を選択する
- 3 リモコンの[決定]または本体の[↵] (決定)を押す
 - 動画のリストが一覧表示されます。
 - 動画がない場合は、メインメニューのスライドショーに戻ります。
- 4 リモコンの[◀]、[▶]または本体の[◀]、[▶]を押して、再生したい動画を選ぶ
- 5 リモコンの[決定]または本体の[↵] (決定)を押す
- 6 リモコンの[音量+]または[音量-]を押して、音量を調整する
 - [消音]を押すと音声を一時的に消すことができます。もう一度[消音]を押すと音声は出ます。



応用操作(続き)

7 動画を停止するには、リモコンの[戻る]を押す

- 動画の一覧表示に戻ります。
- 他の動画を再生するには、手順4より始めてください。

ヒント

- 本体またはリモコンの電源ボタンを除いていずれかのボタンを押し、メニューバーを表示させ、本体の[◀] (停止) や [▶] (中止) を行うことができます。
- 手順3にて、リモコンの[一覧]を押すと、表示される動画の数を変更できます。
- 動画は英数字のみで表示されます。ひらがな、カタカナ、漢字等の2バイト文字は、「-」に置き換えられて表示されます。
- 動画再生中にリモコンの[決定]を押すと一時停止します。再生を開始するには再度リモコンの[決定]を押します。
- 動画の自動回転はできません。

応用操作(続き)

■ メディア選択

電源投入後、一番最後に挿入されたメモリーの優先順位が最も高くなり、そのメモリー内のデータが再生されます。メディア選択を使うと優先順位の低いメモリー内のデータも再生できます。



1 メインメニューを表示します。(P.23)

2 リモコンの[◀]、[▶]または本体の[◀]、[▶]を押して、「メディア選択」を選択する

- 「メディアソース」としてメモリーが表示されます
- 選択可能なメモリーは、アイコンの下に文字が緑で表示されます。
- メモリー内に再生可能なファイルが無い場合は、メモリーが接続されていてもアイコンの下に文字は赤で表示されます。
- 選択できないメモリーまたは接続されていないメモリーは、アイコンの下に文字が赤で表示されます。

3 リモコンの[◀]、[▶]または本体の[◀]、[▶]を押して、メモリーを選ぶ

4 リモコンの[決定]または本体の[◀] (決定)を押す

- メインメニューの「メディア選択」に戻ります。



応用操作(続き)

■ 時計・カレンダー

スライドショーの代わりに、時計やカレンダーを表示することもできます。また、時計やカレンダーと同時にスライドショーも同時に再生することができます。



1 リモコンの[時計]を押す

- ボタンを押すたびに時計・カレンダーの表示は次のように変わります。
 カレンダーとスライドショー → アナログ時計 → カレンダー → デジタル時計 → アナログ時計とスライドショー → (カレンダーとスライドショーに戻る)
- 時計・カレンダーでも BGM は流れます。また、リモコンの[音量+]、[音量-]での音量調整、[消音] ボタンでの消音もできます。
- リモコンの[▲]または[▼]を押して BGM を選ぶことができます。



カレンダーとスライドショー



アナログ時計



カレンダー



デジタル時計



アナログ時計とスライドショー

応用操作(続き)

■ 本体を使って時計・カレンダーを変更する



- 1** 時計・カレンダー表示中に、本体またはリモコンのボタンを押す
 - 時計・カレンダーのメニューバーが表示されます。
- 2** 時計・カレンダーの種類を変更するには、本体の[◀] (カレンダー) を押す
 - ボタンが押される度に、時計・カレンダーの表示が切り換ります。
- 3** スライドショーの写真が切り換わる間隔を換えるには、本体の[▶] (間隔) を押す
 - 「切換間隔」を設定するバーが表示されます。本体の[◀] または[▶] を押して、間隔を変更してください。

ヒント

- ここで設定されるスライドショー間隔は、時計・カレンダー表示のスライドショーに対する設定です。通常のスライドショーの間隔は変更できません。

応用操作(続き)

■ 時計・カレンダーを設定する

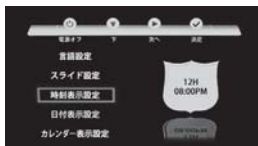
設定メニューを使って、時計・カレンダーに表示される時刻や日付、表示方法を変更できます。



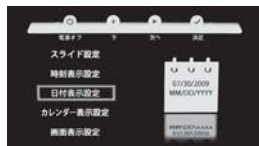
- 1 リモコンの[メニュー]を押す
 - メインメニューが表示されます。
- 2 リモコンの[◀]または[▶]を押し「設定」を選び、[決定]を押す
 - 設定のメニューが表示されます。

- 3 リモコンの[▲]または[▼]を押し、下記の項目を選び、[決定]を押す

- 「時刻表示設定」を選ぶと12時間表示、24時間表示を切り換えることができます。
- 「日付表示設定」を選ぶと、年/月/日、日/月/年、月/日/年の表示を切り換えることができます。



時刻表示設定



日付表示設定



カレンダー表示設定



日時設定

- 「カレンダー表示設定」を選ぶと、カレンダーの日曜始まりと月曜始まりを切り換えることができます。
- 「日時設定」を選ぶと、年月日と時刻を変更することができます。

応用操作(続き)

4 リモコンの[◀]または[▶]を押し、設定したいタイプを選び、[決定]を押す

- 「日時設定」の場合は、選んだ項目の値は、リモコンの[▲]または[▼]を押して変更してください。



5 リモコンの[戻る]を押す

- メインメニューに戻ります。
- 設定メニューの[戻る]を選択しても、メインメニューに戻ります。

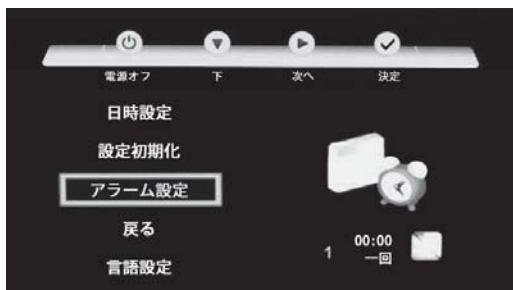
ヒント

- リモコンの[▲]または[▼]を押し続けると早く進みます。

応用操作(続き)

■ アラーム

アラームを2通り設定することができます。



- 1 リモコンの[メニュー]を押す
 - メインメニューが表示されます。
- 2 リモコンの[◀]または[▶]を押し「設定」を選び、[決定]を押す
 - 設定のメニューが表示されます。
- 3 リモコンの[▲]または[▼]を押し「アラーム設定」を選ぶ
- 4 リモコンの[◀]または[▶]を押し、設定するアラームの番号を選ぶ
 - アラームは1と2でそれぞれ別の設定ができます。
- 5 リモコンの[決定]を押す
 - アラーム設定が表示されます。
- 6 リモコンの[◀]または[▶]を押し、設定する項目を選ぶ
- 7 リモコンの[▲]または[▼]を押して設定します。
 - リモコンの[▲]または[▼]を押し続けると早く進みます。
- 8 リモコンの[決定]を押す
 - もう一方のアラーム設定する場合は、手順4から始めます。



応用操作(続き)

9 リモコンの[戻る]を押す

- メインメニューに戻ります。
- 設定メニューの[戻る]を選択しても、メインメニューに戻ります。

ヒント

- アラームはメモリー曲の1番目より再生されます。
 - アラームは電源を切っていても有効です。ただし、ACアダプターは接続しておいてください。
 - アラームをオンにすると、アラーム設定のベルアイコンが青色になります。アラームをオフにすると、アラーム設定のベルアイコンが灰色になります。
 - 設定した時間になると電源の状態により以下の様な動作になります。
 - 電源オフ時：自動的に電源が入り、アラームが起動します。
しばらくすると、スライドショーに切り替わります。
 - 電源オン時：アラームが起動します。
しばらくすると、アラームが解除されます。
- なお、アラーム起動後、自動で電源が切れる事はありません。

重 要

- アラーム音は、音量設定により決定されます。したがって、音量は予め設定しておいてください。また、音声を消音にしておくとアラーム音も出ませんのでご注意ください。
- アラーム設定で[1回]を選択した時、アラームが1度起動するとアラーム設定はオフになります。

応用操作(続き)

■ メモリー内の写真をコピーするには

メモリー内の全写真または選択した写真を本体の内蔵メモリーにコピーできます。また、本体内にコピーした写真を削除することもできます。

- 1** コピーしたいデータが入っているメモリーを接続する(P.34)
- 2** リモコンの[一覧]を押し、写真リストを表示する
- 3** 全ての写真をコピーするには、リモコンの[音量-]を押す
 - 全ての写真に✓(チェックマーク)が付きます。
 - ✓(チェックマーク)を消すには、再度[音量-]を押します。
- 4** 写真を選んでコピーするには、リモコンの[▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して写真を選び、[音量+]を押す
 - 選んだ写真に✓(チェックマーク)が付きます。
 - 複数の写真を選ぶには、この手順を繰り返します。
 - 選んだ写真の✓(チェックマーク)を消すには、再度[音量+]を押します。
- 5** リモコンの[Enter]を押す
 - コピーが成功すると「Copy complete」と表示され、✓(チェックマーク)が消えます。
- 6** リモコンの[戻る]を押して、メインメニューに戻ります。

ヒント

- コピーした写真は、本体内蔵メモリー内の Photo フォルダに入ります。
- インデックス表示が最小の時(P.28 左写真)にはコピーできません。
- 写真と同じ様に動画もコピーが可能です。
コピーした動画は内蔵メモリー内の Video フォルダに入ります。

応用操作(続き)

■ 内蔵メモリー内の写真を削除するには

本体内にコピーした写真を削除することもできます。

- 1** 電源を切って接続されている全てのメモリーを外す
- 2** 本体の電源を入れる (P.20)
- 3** リモコンの[一覧] を押し、写真リストを表示する
- 4** 全ての写真を削除するには、リモコンの[音量-] を押す
 - 全ての写真に ✓ (チェックマーク) が付きます。
 - ✓ (チェックマーク) を消すには、再度[音量-] を押します。
- 5** 写真を選んで削除するには、リモコンの[▲] [▼]、[◀] または [▶] を押して写真を選び、[音量+] を押す
 - 選んだ写真に ✓ (チェックマーク) が付きます。
 - 複数の写真を選ぶには、この手順を繰り返します。
 - 選んだ写真の ✓ (チェックマーク) を消すには、再度[音量+] を押します。
- 6** リモコンの[🗑️] を押す
 - 削除が成功すると「Delete complete」と表示され、✓ (チェックマーク) の付いていた写真が消えます。
- 7** リモコンの[戻る] を押して、メインメニューに戻る

ヒント

- **6**で[🗑️] を押すとすぐに削除されます。
削除するファイルである事を充分に確認してから削除してください。
- インデックス表示が最小の時(P.28 左写真)にはコピーできません。
- 写真と同じ様に動画も削除が可能です。

応用操作(続き)

設定を変更する

設定メニューを使って、本体の輝度や表示される言語を変更することができます。また、時刻や日時、アラーム時刻の変更等もこの設定メニューにて行います。設定メニューにて変更できる内容は「設定メニュー一覧」(P.44)をご覧ください。



- 1 リモコンの[メニュー]を押す
 - メインメニューが表示されます。
- 2 リモコンの[◀]または[▶]を押し「設定」を選び、[決定]を押す
 - 設定のメニューが表示されます。
- 3 リモコンの[▲]または[▼]を押し、設定したい項目を選び、[決定]を押す
 - 設定内容が変更できる状態になります。
- 4 リモコンの[◀]または[▶]を押し、設定内容を変更し、[決定]を押す
 - 「日時設定」の場合は、変更したい月日に[◀]または[▶]を押してカーソルを合わせます。
次に、[▲]または[▼]を押して日時を設定してください。
- 5 リモコンの[戻る]を押す
 - メインメニューに戻ります。
 - 設定メニューの[戻る]を選択しても、メインメニューに戻ります。

応用操作(続き)

設定メニュー一覧

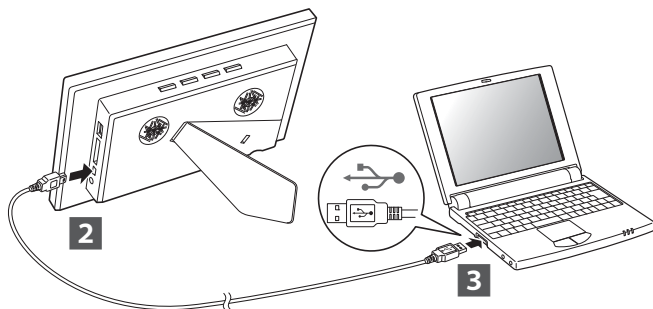
設定メニュー	設定値	設定内容
言語設定	日本語、English	表示やメニューの言語設定
スライド設定	タイプ 1、タイプ 2	スライドショーのパターン
時刻表示設定	24 時間表示、12 時間表示	時刻表示時の形式切り換え
日付表示設定	月 / 日 / 年、年 / 月 / 日、日 / 月 / 年	年月日表示時の形式切り換え
カレンダー表示設定	日曜日始まり、月曜日始まり	カレンダー表示の週表示切り換え
画面表示設定	4:3、16:9	写真の表示サイズ切り換え
輝度設定	8 段階	画面の輝度を設定
音量設定	16 段階	音量を設定
日時設定	年月日、時刻 (24 時間表記)	本体の日時設定
設定初期化	はい、いいえ	初期状態に戻る
アラーム設定	アラーム 1、アラーム 2	アラーム 1 および 2 の設定
戻る		設定メニューの終了

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

応用操作(続き)

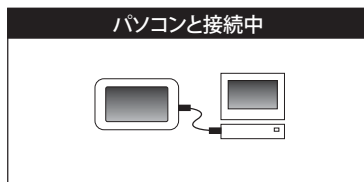
■ パソコンと接続する

本体とパソコンを接続する事で、パソコンから直接メモリーに読み書きすることができます。



- 1 本体の電源を切る
- 2 本体のパソコン接続端子と USB ケーブルを接続する
- 3 パソコンの USB 端子と USB ケーブルを接続する

- 4 本体の電源を入れる
 - 本体には、「パソコンと接続中」と表示が出ます。
- 5 パソコンにリムーバブル ディスクとして認識されることを確認する
 - お使いのパソコンにより表示される内容は異なります。



- 6 本体をパソコンから外すときは、それぞれパソコンに合った方法で外す

ヒント

- USB メモリーが本体に接続されている時に、そのままパソコンに接続すると、USB メモリーが最優先で認識されます。その時、他のメモリーは認識されません。USB メモリーを外すことで他のメモリーが認識されます。

その他

■ 故障かなと思ったら

本体が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症状	処置
電源が入りません。	AC アダプターは正しく接続されていますか。特に AC アダプターの DC プラグ部が本体に正しく接続されているか確認してください。
リモコンの  を押しても、電源が入りません、または本体が動作しません。	リモコンの電池が切れていませんか。お買い上げ時に入っている電池は初期の動作確認用です。電池はお早めに取り換えることをお勧めします。 リモコンと本体の間に遮蔽物はありませんか。また、本体に強い光や直射日光が当たっていませんか。遮蔽物は取り除き、直射日光などは当たらないようにしてください。
写真が切り換わりません。	リモコンの [] または [] が押されませんでしたか。リモコンの [] または [] が押されると一時停止になります。リモコンの [写真] を押してみてください。
写真や動画が表示されません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを入れてください。
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量調整を確認してください。 リモコンの [消音] が押されていませんか。リモコンの [消音] が押されると音声が一時的に出ません。リモコンの [消音] を押してみてください。
表示が暗い	本体の表示設定が正しく設定されていますか。設定メニューをご確認ください。

その他(続き)

仕様

寸法	(W) 207 × (H) 137.5 × (D) 33 (本体)
質量(重量)	約 390g (AC アダプター含まず)
スクリーン	7 型ワイド液晶
内蔵メモリー	1GB (本体ソフトウェアでも使用のため、実使用可能領域は約 895MB)
AC アダプター	5V (出力)、AC 100V (入力)
対応メモリー	USB メモリー、SD カード、マルチメディア (MMC) カード、MS
動作温度保証範囲	5℃～ +35℃

メモ

メモ

メモ

重 要

● 記録内容について

記録内容につきましては、保証の対象外となります。

本体の不具合や操作方法の誤りにより、本体にデータが記憶できなかったり、本体
内や使用したメモリー内のデータの一部または全部が、消去・破損・再生不能になっ
ても保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

● バックアップについて

本体に記録しようとするデータおよび本体で使用するメモリー内のデータにつきま
しては、事前にバックアップをして予備のデータを作成することをお勧めします。
データのバックアップ方法は、ご使用になるパソコンやデジタルカメラ、各メモリー
等の取扱説明書をご覧ください。

【修理規定】

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償
修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トラ
イウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

(ロ) お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外
の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。

(ニ) 本書のご添付がない場合。

(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替
えられた場合。

(ヘ) 船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。

(ト) 持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

本書は国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

本体の故障および損傷により、お客様が作成されたデータの総てまたは一部が破損もしくは修復不可
能になりましても、一切保証致しませんので、ご了承ください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全
点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対する
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の
場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

修理メモ

■ サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DFD-700」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生したデータ形式(JPEG、MP3、M-JPEG等)
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容

行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：**トライウイン・サポートセンター**

電話：**0570-030-100** 電子メール：**support@trywin.co.jp**

受付時間：**月曜日～金曜日**（祝日および弊社の休日を除く） **午前 10:00 ～午後 6:00**

住所：〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

Web ページアドレス：<http://www.trywin.co.jp/>

Printed in China

DFD70001-A

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で修理を行うことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

Trywin

デジタル
フォトフレーム

保証書

品番	DFD-700	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
お買い上げ日 □□年□□月□□日		販売店名・住所・電話番号	
保証期間（お買い上げ日から） 本体 1 年間		電話番号（ ） —	

トライウイン・サポートセンター

TEL：(0570)-030-100 E-mail: support@trywin.co.jp

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677